

施策の基本的方向性	5 アセットマネジメントによるライフサイクルコストの縮減
施策	1 ライフサイクルコスト縮減への取組
とりまとめ	経営企画課
関連事業概要 (中期経営計画より)	(1) 適正な投資水準の算定 [経営企画課] ●本市水道事業は、水源から取水するための施設、その水をきれいにする浄水場、安定的かつ効率的に水を送り出す配水所、これらの施設を結び、安全で安心な水をお客さまの下へお届けする管路など、膨大な水道施設によって成り立っており、その維持管理や更新には多額の費用が必要となります。 ●持続可能な水道事業運営を目指し、限られた財源の効果的な投資を図るため、AIなどの新技術も積極的に活用しながら、水道施設を構成する土木構造物、建築物、機械・電気・計装設備、水道管（水管橋を含む）それぞれの特徴を踏まえたアセットマネジメントの取組を引き続き推進していきます。 ●各水道施設の調査・点検結果などの情報をデータ化して蓄積し、これを活用した想定使用年数の設定及び見直しを行い、中長期的な資産の状態をより的確に見据えた更新需要の見通しや適正な投資水準を算出し、これらに基づいた維持管理や更新の実施によって更なるライフサイクルコストの縮減を図ります。

事業進捗度集計 (次ページ以降より)	指標No.	指 標	年度別 事業進捗度の判定結果【4段階判定（スコア）】				
			R7	R8	R9	R10	R11
	(1) -1	アセットマネジメント手法によるライフサイクルコスト縮減の	○ (2)				
	(1) -2	次期基本計画期間中の投資水準の算出	◎ (3)				

施策進捗度	進捗度	下限	～	目標	～	上限	年度別 施策進捗度の判定結果【4段階判定（スコア計）】				
	判定域	C	～	A	～	S	R7	R8	R9	R10	R11
	スコア計	0	～	4	～	5	S (5)				
	施策進捗度 判定基準						上記 () 内に示す「スコア計」の値をXとして				
		S	4	<	X	≤	5	(目標を上回った)			
		A	3	≤	X	≤	4	(概ね目標通り)			
		B	1	≤	X	<	3	(目標を下回った)			
		C	0	≤	X	<	1	(目標を大きく下回った)			

R7年度 施策評価 まとめ	R7年度までのスコア計推移					R7年度 施策進捗度																									
	<table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>実績スコア</th><th>A判定 上限</th><th>A判定 下限</th></tr></thead><tbody><tr><td>R7</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td></tr><tr><td>R8</td><td></td><td>4</td><td>3</td></tr><tr><td>R9</td><td></td><td>4</td><td>3</td></tr><tr><td>R10</td><td></td><td>4</td><td>3</td></tr><tr><td>R11</td><td></td><td>4</td><td>3</td></tr></tbody></table>					年度	実績スコア	A判定 上限	A判定 下限	R7	5	4	3	R8		4	3	R9		4	3	R10		4	3	R11		4	3	S / S ~ C	
	年度	実績スコア	A判定 上限	A判定 下限																											
	R7	5	4	3																											
	R8		4	3																											
R9		4	3																												
R10		4	3																												
R11		4	3																												
R7年度「施策5-1」総評																															
全項目で目標を達成し、施策評価は「S判定」となった。 (1) -1：【進捗度 ○】 管路系資産、および施設系資産のそれぞれに関して、将来100年間における更新需要の算出を終え、更に更新投資額のシミュレーション分析を完了した。 (1) -2：【進捗度 ◎】 当初設定した目標の達成に加え、資産の状態をよりの確に見据えた更新需要見通しを算出し、更新需要に対する更新投資の効果の分析を行った。																															

事業管理 No.1	指標概要	指標No.	(1) -1 適正な投資水準の算定					
		指標 [単位]	アセットマネジメント手法によるライフサイクルコスト縮減の取組 [-]					
			指標算出方法	指標A [－]＝ライフサイクルコスト縮減に向けた取組の実施				
			指標種別	4.実施有無形式				
	事前整理 事項	目標 [－]	R7	R8	R9	R10	R11	
			実施	実施	実施	実施	実施	
		進捗度 判定基準	指標に設定した行為等に対し、実施したかどうかで、以下の通り判定を行う。					
				(なし)				
			○	実 施 (概ね目標通り)				
			×	(なし)				
	進捗確認	実績 [－]	未 実 施 (目標を大きく下回る)					
			R7	R8	R9	R10	R11	
実施								
進捗度 判定		R7	R8	R9	R10	R11		
	○							

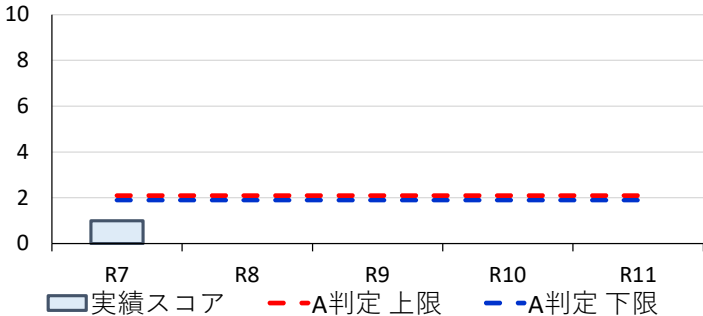
事業管理
No.2

指標概要	指標No.	(1) -2適正な投資水準の算定					
	指標 [単位]	次期基本計画期間中の投資水準の算出 [%]					
	指標算出方法	指標A [%] = 工程表の進捗割合					
	指標種別	3.工程表形式					
事前整理事項	目標値 A' [-]	R7	R8	R9	R10	R11	
		40	100	100	100	100	
	工程表	割合	内 容				済 確認
		20	各種水道施設の情報を整理				R7 済
		20	整理した各種施設情報に対して想定使用年数を設定				R7 済
		20	資産の状態をよりの確に見据えた更新需要の見通しを算出				R7 済
		20	更新需要に対する更新投資の効果を分析				R7 済
		20	次期基本計画期間中の適正な投資水準の算出				
	進捗度 判定基準	実績値Aと目標値A'に対して、以下の通り判定を行う。					
		◎	A' +20 ≦ A (目標を上回る)				
		○	A' ≦ A < A' +20 (概ね目標通り)				
		△	A' -20 ≦ A < A' (目標を下回る)				
×		A < A' -20 (目標を大きく下回る)					
進捗確認	実績入力	R7	R8	R9	R10	R11	
	実績値 A □	80					
	目標値および 実績値の推移						
進捗度 判定		R7	R8	R9	R10	R11	
	◎						

施策の基本的方向性	6 将来の更新財源確保に向けた水道料金等の在り方検討
施策	1 水道料金等の在り方検討【重点施策】
とりまとめ	財務課
関連事業概要 (中期経営計画より)	(1) 適切な水道料金等の在り方検討 [財務課] ●様々な経営効率化の取組による更なるコスト縮減や、将来世代に過度な負担を残さない企業債の在り方の検討など、収支両面から取り組むとともに、長期的な財政収支の見通しを精査し、健全な事業運営の維持のために必要となる水道料金収入について検討します。 ●現在の水道料金の体系については、固定費の多くを基本料金ではなく従量料金で回収しているため、水需要の減少が進むと、必要な費用を十分に回収できなくなるおそれがあるほか、逦増制の料金体系により、大口使用者の負担感から地下水等への切り替えの要因となっていることを踏まえ、引き続き、料金体系の在り方について検討していくとともに、大口使用者の地下水等併用への対応や、水道加入金・開発負担金の適正な在り方について検討します。 ●今後もお客さまのご理解をいただきながら、水道事業を維持していくための費用を適正かつ公平に負担していただくため、持続可能な事業運営と適正な水道料金等の在り方について、お客さまや有識者の意見を伺いながら検討を進めます。

事業進捗度集計 (次ページ以降より)	指標No.	指 標	年度別 事業進捗度の判定結果【4段階判定（スコア）】				
			R7	R8	R9	R10	R11
	(1) -1	水道料金等の在り方検討の進捗	△ (1)				

施策進捗度	進捗度	下限	～	目標	～	上限	年度別 施策進捗度の判定結果【4段階判定（スコア計）】				
	判定域	C	～	A	～	S	R7	R8	R9	R10	R11
	スコア計	0	～	2	～	3	B (1)				
	施策進捗度 判定基準						上記 () 内に示す「スコア計」の値をXとして				
							S	2 < X ≤ 3	(目標を上回った)		
							A	2 ≤ X ≤ 2	(概ね目標通り)		
							B	1 ≤ X < 2	(目標を下回った)		
							C	0 ≤ X < 1	(目標を大きく下回った)		

R7年度 施策評価 まとめ	R7年度までのスコア計推移		R7年度 施策進捗度	
			B S ~ C	
	R7年度 「施策6-1」 総評			
	一部遅れが生じ、施策の評価としては「B判定」となった。 (1) -1 : 【進捗度 △】 次期基本計画策定と合わせて検討を進めていくスケジュールを整理するとともに、継続的に関係部署との意見交換を行いながら局内検討体制の構築を図った。外部意見の取り入れや広報手法に関する検討に着手したものの、具体的な方針については検討未了となっている。			

事業管理
No.1

指標概要	指標No.	(1) -1 適切な水道料金等の在り方検討					
	指標 [単位]	水道料金等の在り方検討の進捗 [%]					
	指標算出方法	指標A [%] = 工程表の進捗割合					
	指標種別	3.工程表形式					
事前整理 事項	目標値 A' [%]	R7	R8	R9	R10	R11	
		20	40	60	80	100	
	工程表	割合	内 容				済 確認
		10	中長期的な検討スケジュール案策定				R7 済
		10	局内検討体制の構築検討／外部との検討手法・対外広報手法の検討実施				
		80	(上記以降の実施内容は、取組状況等を踏まえ検討)				
	進捗度 判定基準	実績値Aと目標値A'に対して、以下の通り判定を行う。					
		◎	A' +10 ≤ A		(目標を上回る)		
		○	A' ≤ A < A' +10		(概ね目標通り)		
		△	A' -10 ≤ A < A'		(目標を下回る)		
		×	A < A' -10		(目標を大きく下回る)		
進捗確認	実績入力	R7	R8	R9	R10	R11	
	実績値 A □	10					
	目標値および 実績値の推移	-20020406080100 目標値 実績値 ■ R7 ■ R8 ■ R9 ■ R10 ■ R11					
進捗度 判定		R7	R8	R9	R10	R11	
	△						

施策の基本的方向性	7 新技術導入等による業務の効率化・お客さまサービス向上
施策	1 DX推進による業務の効率化・お客さまサービスの向上
とりまとめ	経営企画課
関連事業概要 (中期経営計画より)	(1) DX推進による業務の効率化・お客さまサービスの向上 [経営企画課] ●更なる業務効率化とお客さまサービス向上を図るため、局全体としてのシステムのあるべき姿やDXの進め方について不断の見直しを行いながら、ITインフラの整備やBPR、業務のデジタル化等に取り組んでいくとともに、AIやスマートデバイス等新技術の活用についても積極的に検討を進め、DXを着実に推進していきます。 ●「仙台市DX推進計画2024-2026」に定めるオンライン手続きの拡充に向けて、課題や各種手続きの利便性向上等について検討します。

事業進捗度集計 (次ページ以降より)	指標No.	指 標	年度別 事業進捗度の判定結果【4段階判定（スコア）】				
			R7	R8	R9	R10	R11
	(1) -1	一部業務を対象としたBPRの試行	○ (2)				
	(1) -2	手続きオンライン化検討の進捗	○ (2)				

施策進捗度	進捗度	下限	～	目標	～	上限	年度別 施策進捗度の判定結果【4段階判定（スコア計）】				
							R7	R8	R9	R10	R11
	判定域	C	～	A	～	S	A (4)				
	スコア計	0	～	4	～	6					
	施策進捗度 判定基準						上記 () 内に示す「スコア計」の値をXとして				

S	5	<	X	≦	6	(目標を上回った)
A	3	≦	X	≦	5	(概ね目標通り)
B	1	≦	X	<	3	(目標を下回った)
C	0	≦	X	<	1	(目標を大きく下回った)

R7年度 施策評価 まとめ	R7年度までのスコア計推移		R7年度 施策進捗度
			A / S ~ C
	R7年度「施策7-1」総評		
	全項目で目標を達成し、施策評価は「A判定」となった。 (1) -1：【進捗度 ○】 令和8年度の局内事務に係るBPR支援業務委託の発注に向け、事業者へのヒアリング等を行い、実施方針の整理および業務内容の検討を進めた。また、管路工事の関連業務に係るBPRの試行を行い、令和8年度以降の本実施に向けた検討を進めた。 (1) -2：【進捗度 ○】 各申請のオンライン化にかかる検討は下記のとおり順調に進捗し、令和7年度目標を達成した。 【水道料金等の口座振替申請】 課題解決等検討を行い、業者からのシステム見積聴取、予算要求を実施したのち、局内合意形成を完了した。 【給水装置関係申請】 課題解決等検討を行い、令和7年度予定しているオンライン申請作成システムによる作成を完了した。		

事業管理
No.1

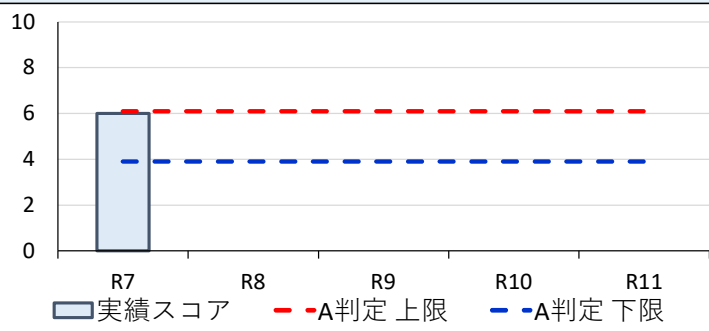
指標概要	指標No.	(1) -1 DX推進による業務の効率化・お客さまサービスの向上					
	指標 [単位]	一部業務を対象としたBPRの試行 [%]					
	指標算出方法	指標A [%] = 工程表の進捗割合					
	指標種別	3.工程表形式					
事前整理 事項	目標値 A' [%]	R7	R8	R9	R10	R11	
		20	40	60	80	100	
	工程表	割合	内 容				済 確認
		20	BPRの実施に向けた検討				R7 済
		80	(以降の実施内容は、上記検討を踏まえ決定)				
	進捗度 判定基準	実績値Aと目標値A'に対して、以下の通り判定を行う。					
		◎	A' +20 ≦ A (目標を上回る)				
		○	A' ≦ A < A' +20 (概ね目標通り)				
		△	A' -20 ≦ A < A' (目標を下回る)				
		×	A < A' -20 (目標を大きく下回る)				
進捗確認	実績入力	R7	R8	R9	R10	R11	
	実績値 A □	20					
	目標値および 実績値の推移						
進捗度 判定		R7	R8	R9	R10	R11	
	○						

事業管理 No.2	指標概要	指標No.	(1) -2 DX推進による業務の効率化・お客さまサービスの向上					
		指標 [単位]	手続きオンライン化検討の進捗 [%]					
		指標算出方法	指標A [%] = 工程表の進捗割合					
		指標種別	3.工程表形式					
	事前整理 事項	目標値 A' [%]	R7 50	R8 70	R9 80	R10 90	R11 100	
		工程表	割合	内 容				済 確認
			25	課題解決等検討【水道料金等の口座振替申請】				R7 済
			10	オンライン化検討【水道料金等の口座振替申請】				
			20	課題解決等検討【給水装置関係申請】				R7 済
			5	オンライン申請作成システムによる作成【給水装置関係申請】				R7 済
			10	オンライン申請試行・オンライン化調整・操作研修等【給水装置関係申請】				
			30	(上記以降の実施内容は、取組状況等を踏まえ検討)				
		進捗度 判定基準	実績値Aと目標値A'に対して、以下の通り判定を行う。					
			◎	A' +10 ≦ A (目標を上回る)				
			○	A' ≦ A < A' +10 (概ね目標通り)				
			△	A' -10 ≦ A < A' (目標を下回る)				
			×	A < A' -10 (目標を大きく下回る)				
進捗確認	実績入力	R7 50	R8	R9	R10	R11		
	実績値 A □							
	目標値および 実績値の推移							
進捗度 判定		R7 ○	R8	R9	R10	R11		

施策の基本的方向性	8 水道事業を支える人材の確保・育成及び組織体制の強化
施策	1 キャリアを意識した計画的な人材育成
とりまとめ	総務課
関連事業概要 (中期経営計画より)	(1) キャリア形成のきっかけづくり [総務課]
	●業務を通じた自立的な成長と理解を促すため、毎年度事業紹介シートを作成・発信することで、水道局内各部署の業務内容等のほか、そこで培われる（求められる）技術や知識、経験について理解し、職員がキャリア形成について考える機会を提供するための取組を進めます。
	(2) キャリア形成支援への働きかけ [総務課]
	●水道事業を支える知識豊富で経験豊かな職員の育成を目的として、職種等に応じたジョブローテーションを職員の意向を踏まえながら推進するため、ジョブローテーションモデルの提示やキャリアデザイン研修を毎年度行うなど、きめ細かなキャリア形成支援についての取組を進めます。

事業進捗度集計 (次ページ以降より)	指標No.	指 標	年度別 事業進捗度の判定結果【4段階判定（スコア）】				
			R7	R8	R9	R10	R11
	(1) -1	事業紹介シートの作成	○ (2)				
	(2) -1	ジョブローテーションモデルの提示	○ (2)				
	(2) -2	キャリアデザイン研修の満足度	○ (2)				

施策進捗度	進捗度	下限	～	目標	～	上限	年度別 施策進捗度の判定結果【4段階判定（スコア計）】				
							R7	R8	R9	R10	R11
	判定域	C	～	A	～	A	A (6)				
	スコア計	0	～	6	～	6					
	施策進捗度 判定基準						上記 () 内に示す「スコア計」の値をXとして				
							S	(なし)			
							A	4	≦	X	≦ 6 (概ね目標通り)
							B	2	≦	X	< 4 (目標を下回った)
							C	0	≦	X	< 2 (目標を大きく下回った)

R7年度 施策評価 まとめ	R7年度までのスコア計推移					R7年度 施策進捗度
						A / A ~ C
	R7 R8 R9 R10 R11					
	実績スコア -A判定 上限 -A判定 下限					
	R7年度「施策8-1」総評					
全項目で目標を達成し、施策評価は「A判定」となった。 (1) -1：【進捗度 ○】 各部署が作成した事業紹介シートをとりまとめ、局内へ公開した。 (2) -1：【進捗度 ○】 8月上旬に実施したキャリアデザイン研修の中で、ジョブローテーションモデルを複数提示した。 (2) -2：【進捗度 ○】 キャリアデザイン研修においてアンケート調査を実施し、「ある程度満足できた」以上の回答が100%（12人中12人）であった。						

事業管理 No.1	指標概要	指標No.	(1) -1 キャリア形成のきっかけづくり				
		指標 [単位]	事業紹介シートの作成				

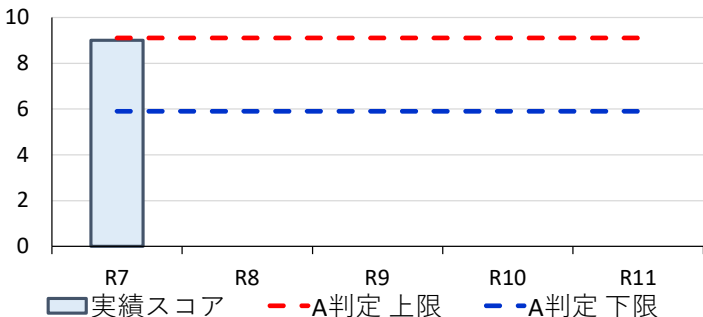
事業管理 No.2	指標概要	指標No.	(2) -1 キャリア形成支援への働きかけ				
		指標 [単位]	ジョブローテーションモデルの提示				

事業管理 No.3	指標概要	指標No.	(2)-2 キャリア形成支援への働きかけ				
		指標〔単位〕	キャリアデザイン研修の満足度 [%]				
		指標算出方法	指標A〔%〕＝研修後アンケートにおける「満足」「おおむね満足」の回答割合				
		指標種別	2.数値形式(維持)				
	事前整理 事項	目標値 A'〔-〕	R7	R8	R9	R10	R11
			90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
		進捗度 判定基準	実績値Aに関して、以下の通り判定を行う。				
			(なし)				
			○	85.0 ≤ A ≤ 100.0	(概ね目標通り)		
			△	65.0 ≤ A < 85.0	(目標を下回る)		
			×	0.0 ≤ A < 65.0	(目標を大きく下回る)		
	進捗確認	実績入力	R7	R8	R9	R10	R11
		実績値 A〔%〕	100.0				
		目標値および実績値の推移					
	進捗度 判定		R7	R8	R9	R10	R11
			○				

施策の基本的方向性	8 水道事業を支える人材の確保・育成及び組織体制の強化
施策	2 人材育成環境の強化・充実
とりまとめ	総務課
関連事業概要 (中期経営計画より)	(1) 職員研修内容の充実 [総務課] ●職員の目指すべき人材像への到達に向け、毎年度計画的に局主催の研修を実施していくほか、各職場においても必要なスキルを定めて研修を実施していきます。
	(2) 職員研修施設の修繕・改良及び活用 [総務課] ●研修施設・設備について、職員の利用ニーズに対応し、研修効果を一層高めていけるよう、修繕及び改良を行います。 ●職員以外の利用なども含めた研修施設の更なる活用を検討します。
	(3) ナレッジデータベース（知識や経験のデータベース）の活用 [総務課] ●各職場における業務を通じて得られた様々な知識や経験等の情報資産を水道局内で共有するため、ナレッジデータベースの活用について手段も含めて検討を進めます。

事業進捗度集計 (次ページ以降より)	指標No.	指 標	年度別 事業進捗度の判定結果【4段階判定（スコア）】				
			R7	R8	R9	R10	R11
	(1) -1	局主催研修の満足度	○ (2)				
	(1) -2	各職場研修の実施率	○ (2)				
	(2) -1	研修施設・設備の修繕・改良	○ (2)				
	(3) -1	ナレッジデータベースの局内認知度	◎ (3)				

施策進捗度	進捗度	下限 ～ 目標 ～ 上限	年度別 施策進捗度の判定結果【4段階判定（スコア計）】				
			R7	R8	R9	R10	R11
	判定域	C ～ A ～ S	A (9)				
	スコア計	0 ～ 8 ～ 10					
	施策進捗度 判定基準		上記 () 内に示す「スコア計」の値をXとして				
			S	9 < X ≤ 10	(目標を上回った)		
			A	6 ≤ X ≤ 9	(概ね目標通り)		
			B	3 ≤ X < 6	(目標を下回った)		
			C	0 ≤ X < 3	(目標を大きく下回った)		

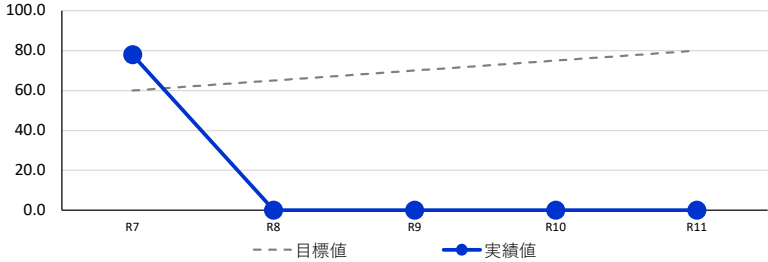
R7年度 施策評価 まとめ	R7年度までのスコア計推移					R7年度 施策進捗度	
						A / S ~ C	
	R7年度「施策8-2」総評						
全項目で目標を達成し、施策評価は「A判定」となった。 (1) -1:【進捗度 ○】 令和7年度実施した局主催研修の満足度は85%であり、目標以上の結果となった。 (内訳：新規採用・転任職員研修86.8%、新任技術職員研修83.4%、中堅技術職員研修は職員研修所大規模改修工事に伴い中止) (1) -2:【進捗度 ○】 年度末にとりまとめた各職場研修の実施率は91%となった。 (2) -1:【進捗度 ○】 局研修施設の大規模改修にあたり、工事の発注を完了したことから、令和7年度目標を達成したと評価する。 (3) -1:【進捗度 ◎】 1月に実施した局内アンケート調査にて、ナレッジデータベースを「認知している」旨の回答は78%となった。							

事業管理 No.1	指標概要	指標No.	(1)-1 職員研修内容の充実				
		指標 [単位]	局主催研修の満足度 [%]				
		指標算出方法	指標A [%] = 局内意識調査による「満足」「どちらかというと満足」の割合				
		指標種別	2.数値形式(維持)				
	事前整理 事項	目標値 A' [%]	R7	R8	R9	R10	R11
			83.0	83.0	83.0	83.0	83.0
		進捗度 判定基準	実績値Aに関して、以下の通り判定を行う。				
			(なし)				
			○	75.0 ≤ A ≤ 100.0	(概ね目標通り)		
			△	60.0 ≤ A < 75.0	(目標を下回る)		
			×	0.0 ≤ A < 60.0	(目標を大きく下回る)		
進捗確認	実績入力		R7	R8	R9	R10	R11
		実績値 A [%]	85.0				
	目標値および 実績値の推移						
	進捗度 判定		R7	R8	R9	R10	R11
			○				

事業管理 No.2	指標概要	指標No.	(1)-2 職員研修内容の充実				
		指標 [単位]	各職場研修の実施率 [%]				
		指標算出方法	指標A [%] = 「実施研修数の合計／年間研修計画に基づく実施予定研修数の合計×100」				
		指標種別	2.数値形式(維持)				
	事前整理 事項	目標値 A' [%]	R7	R8	R9	R10	R11
			90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
		進捗度 判定基準	実績値Aに関して、以下の通り判定を行う。				
			(なし)				
			○	85.0 ≤ A ≤ 100.0	(概ね目標通り)		
			△	65.0 ≤ A < 85.0	(目標を下回る)		
			×	0.0 ≤ A < 65.0	(目標を大きく下回る)		
進捗確認	実績入力		R7	R8	R9	R10	R11
		実績値 A [%]	91.0				
	目標値および 実績値の推移						
	進捗度 判定		R7	R8	R9	R10	R11
			○				

事業管理
No.3

指標概要	指標No.	(2) -1 職員研修施設の修繕・改良及び活用					
	指標 [単位]	研修施設・設備の修繕・改良 [%]					
	指標算出方法	指標A [%] = 工程表に基づく進捗割合					
	指標種別	3.工程表形式					
事前整理事項	目標値 A' [%]	R7	R8	R9	R10	R11	
		20	40	60	80	100	
	工程表	割合	内 容				済 確 認
		20	研修施設の大規模改修の発注				R7 済
		20	研修施設の大規模改修の完了及び給配水技術研修施設付属設備等改良・修繕				
		20	給配水技術研修施設付属設備等改良・修繕				
		20	実流量装置修繕の発注				
		20	給・配水技術研修施設屋根設置及び漏水調査体験施設改修				
	進捗度 判定基準	実績値Aと目標値A'に対して、以下の通り判定を行う。					
◎		A' +20	≦	A	(目標を上回る)		
○		A'	≦	A < A' +20	(概ね目標通り)		
△		A' -20	≦	A < A'	(目標を下回る)		
×		A		<	A' -20 (目標を大きく下回る)		
進捗確認	実績入力	R7	R8	R9	R10	R11	
	実績値 A []	20					
	目標値および 実績値の推移	-40-20020406080100 目標値 実績値					
		■ R7 □ R8 ■ R9 □ R10 ■ R11					
進捗度 判定	R7	R8	R9	R10	R11		
	○						

事業管理 No.4	指標概要	指標No.	(3) -1 ナレッジデータベース（知識や経験のデータベース）の活用					
		指標〔単位〕	ナレッジデータベースの局内認知度 [%]					
		指標算出方法	指標A〔%〕＝局内意識調査による「認知している」旨の回答割合					
		指標種別	1.数値形式(変動)					
	事前整理 事項	目標値 A'〔%〕	R7	R8	R9	R10	R11	
			60.0	65.0	70.0	75.0	80.0	
		進捗度 判定基準	達成度X＝実績値A / 目標値A' として、以下の通り判定を行う。					
			◎	110.0	≦	X	(目標を上回る)	
			○	90.0	≦	X < 110.0	(概ね目標通り)	
	△		70.0	≦	X < 90.0	(目標を下回る)		
進捗確認	実績入力	R7	R8	R9	R10	R11		
	実績値 A〔%〕	78.0						
	達成度 X〔〕	130.0						
	目標値および 実績値の推移							
進捗度 判定		R7	R8	R9	R10	R11		
	◎							

施策の基本的方向性	9 お客さまとの双方向コミュニケーション充実による開かれた経営の実現
施策	1 お客さまとのコミュニケーションの推進
とりまとめ	営業課
関連事業概要 (中期経営計画より)	(1) お客さまとのコミュニケーションの推進 [営業課] ●お客さまの水道事業に対する高い満足度を維持するためには、水道事業に関する関心・理解を高める必要があることから、関心の低い若年層や児童とその保護者を主なターゲットとして、効果的な媒体・手法を組み合わせた広報を積極的に行っています。 ●お客さまとのコミュニケーションを強化するために、水道フェアや青下の杜フェスティバル等のお客さま参加・体験型イベントを青下の杜プロジェクトやおふろ部等と連携して毎年度実施していきます。 ●お客さまのご意見を事業運営に反映することにより、サービスの向上を図るとともに、双方向コミュニケーションを通じて、水道事業に対するお客さまの関心を醸成するため、水源保全活動やイベント活動等を水道サポーターと協働で実施し、その取組状況を周知します。

事業進捗度集計 (次ページ以降より)	指標No.	指 標	年度別 事業進捗度の判定結果【4段階判定（スコア）】				
			R7	R8	R9	R10	R11
	(1) -1	お客さま参加・体験型イベントの満足度	○ (2)				
	(1) -2	水道サポーター活動実施率	○ (2)				

施策進捗度	進捗度	下限	～	目標	～	上限	年度別 施策進捗度の判定結果【4段階判定（スコア計）】				
							R7	R8	R9	R10	R11
	判定域	C	～	A	～	A	A (4)				
	スコア計	0	～	4	～	4					
	施策進捗度 判定基準						上記 () 内に示す「スコア計」の値をXとして S (なし) A 3 ≦ X ≦ 4 (概ね目標通り) B 1 ≦ X < 3 (目標を下回った) C 0 ≦ X < 1 (目標を大きく下回った)				

R7年度 施策評価 まとめ	R7年度までのスコア計推移	R7年度 施策進捗度
	10 8 6 4 2 0 R7 R8 R9 R10 R11 実績スコア -A判定 上限 -A判定 下限	A / A ~ C
	R7年度 「施策9-1」 総評 全項目で目標を達成し、施策評価は「A判定」となった。 (1) -1：【進捗度 ○】 各イベントでのアンケートにおける「満足」「どちらかという満足」の回答割合の平均値は87.6%であった。 (内訳：青下の杜フェスティバル2025 90.2%、水道フェア2025 85.0%) (1) -2：【進捗度 ○】 令和7年度計画していた水道サポーター活動は7回であったが、9回実施した。 (内訳：講座、青下の杜フェスティバル2025協力、施設見学会、水道フェア2025協力、2025下水道フェア協力、森林保全活動（間伐）、森林保全活動（水源地ツアー）、5都市合同防災訓練、意見交換会）	

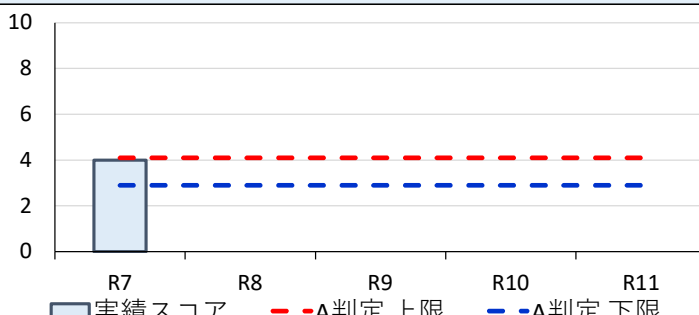
事業管理 No.1	指標概要	指標No.	(1) -1 お客さまとのコミュニケーションの推進				
		指標 [単位]	お客さま参加・体験型イベントの満足度 [%]				
		指標算出方法	指標A [%] = 各イベントでのアンケートにおける「満足」「どちらかというと満足」の回答割合の平均値				
		指標種別	2.数値形式(維持)				
	事前整理 事項	目標値 A' [%]	R7	R8	R9	R10	R11
			85.0	85.0	85.0	85.0	85.0
		進捗度 判定基準	実績値Aに関して、以下の通り判定を行う。				
			(なし)				
			○	80.0 ≤ A ≤ 100.0	(概ね目標通り)		
			△	60.0 ≤ A < 80.0	(目標を下回る)		
			×	0.0 ≤ A < 60.0	(目標を大きく下回る)		
	進捗確認	実績入力	R7	R8	R9	R10	R11
		実績値 A [%]	87.6				
		目標値および 実績値の推移					
	進捗度 判定		R7	R8	R9	R10	R11
			○				

事業管理 No.2	指標概要	指標No.	(1) -2 お客さまとのコミュニケーションの推進				
		指標 [単位]	水道サポーター活動実施率 [%]				
		指標算出方法	指標A [%] = 実施回数/年間活動計画回数×100				
		指標種別	2.数値形式(維持)				
	事前整理 事項	目標値 A' [%]	R7	R8	R9	R10	R11
			100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		進捗度 判定基準	実績値Aに関して、以下の通り判定を行う。				
			(なし)				
			○	90.0 ≤ A ≤ 100.0	(概ね目標通り)		
			△	70.0 ≤ A < 90.0	(目標を下回る)		
			×	0.0 ≤ A < 70.0	(目標を大きく下回る)		
	進捗確認	実績入力	R7	R8	R9	R10	R11
		実績値 A [%]	100.0				
		目標値および 実績値の推移					
	進捗度 判定		R7	R8	R9	R10	R11
			○				

施策の基本的方向性	9 お客さまとの双方向コミュニケーション充実による開かれた経営の実現
施策	2 アンケート等によるお客さまニーズ等の把握
とりまとめ	営業課
関連事業概要 (中期経営計画より)	(1) アンケートやお客さま意識調査等の継続的实施 [営業課・経営企画課] ●お客さまの関心が高い情報を発信するため、アンケートを通してお客さまのニーズを把握し、今後の広報に反映します。 ●施策の認知度を高めていくため、水道フェア等のイベントや広報紙により水道局の取組をお知らせするとともに、定期的なお客さま意識調査により、その効果を把握し、今後の広報に反映していきます。

事業進捗度集計 (次ページ以降より)	指標No.	指標	年度別 事業進捗度の判定結果【4段階判定（スコア）】				
			R7	R8	R9	R10	R11
	(1) -1	アンケートの実施回数	○ (2)				
	(1) -2	お客さま意識調査	○ (2)				

施策進捗度	進捗度	下限	～	目標	～	上限	年度別 施策進捗度の判定結果【4段階判定（スコア計）】				
	判定域	C	～	A	～	A	R7	R8	R9	R10	R11
	スコア計	0	～	4	～	4	A (4)				
	施策進捗度 判定基準						上記 () 内に示す「スコア計」の値をXとして				
							S	(なし)			
							A	3	≦	X	≦ 4 (概ね目標通り)
							B	1	≦	X	< 3 (目標を下回った)
							C	0	≦	X	< 1 (目標を大きく下回った)

R7年度 施策評価 まとめ	R7年度までのスコア計推移		R7年度 施策進捗度	
	 ■実績スコア - - A判定 上限 - - A判定 下限		A / A ~ C	
	R7年度「施策9-2」総評			
	全項目で目標を達成し、施策評価は「A判定」となった。 (1) -1：【進捗度 ○】 令和7年度は下記イベントにてアンケート調査を計4回実施し、目標の3回を上回る結果となった。 (アンケート実施イベント：青下の杜フェスティバル2025、水道フェア2025、せんだい防災のひろば2025、2025下水道フェア) (1) -2：【進捗度 ○】 広報紙『仙台の水道H2O』（12月号）に二次元コードを掲載する形でWeb上での広報アンケートを実施した。回答数は277件で、統計学的観点で求められる回答数（400件程度以上）に至らなかったことから、次年度はより適した方法等を検討した上でアンケート調査を実施する。			

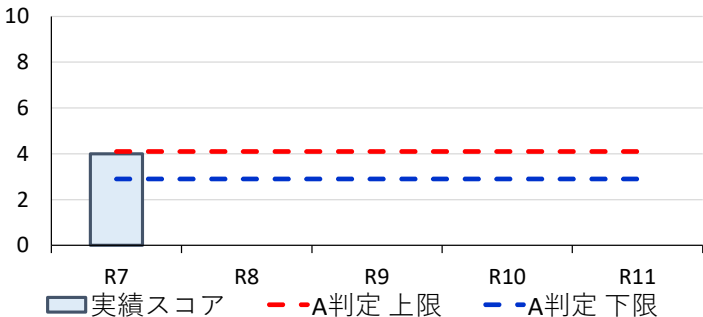
事業管理 No.1	指標概要	指標No.	(1) -1 アンケートやお客さま意識調査等の継続的实施				
		指標 [単位]	アンケートの実施回数 [回]				
		指標算出方法	指標A [回] = 各種イベント等における「ニーズ把握を目的とした設問が含まれるアンケート調査」の実施回数				
		指標種別	2.数値形式(維持)				
	事前整理 事項	目標値 A' [回]	R7	R8	R9	R10	R11
			3	3	3	3	3
		進捗度 判定基準	実績値Aに関して、以下の通り判定を行う。				
			(なし)				
			○	3.0 ≤ A	(概ね目標通り)		
			△	2.0 ≤ A < 3.0	(目標を下回る)		
			×	0.0 ≤ A < 2.0	(目標を大きく下回る)		
	進捗確認	実績入力	R7	R8	R9	R10	R11
		実績値 A [回]	4				
		目標値および 実績値の推移					
	進捗度 判定		R7	R8	R9	R10	R11
			○				

事業管理 No.2	指標概要	指標No.	(1) -2 アンケートやお客さま意識調査等の継続的实施				
		指標 [単位]	お客さま意識調査				

施策の基本的方向性	10 災害対応における地域・他の水道事業者・民間事業者との連携強化
施策	1 関係者と連携した災害対応の充実【重点施策】
とりまとめ	水道危機管理室
関連事業概要 (中期経営計画より)	(1) 地域の皆さまによる応急給水訓練の支援 [水道危機管理室] ●地域の皆さまによる円滑な応急給水所の開設を目指し、防災訓練を通して災害時給水栓の操作方法を説明するなど、地域の皆さまによる応急給水訓練の支援を行います。
	(2) 他の水道事業者・民間事業者との応援体制の充実 [水道危機管理室] ●災害対応力の一層の向上を図るため、相互応援関係にある他の水道事業者や応急給水や復旧作業等でパートナーとなる民間事業者との定期的な合同訓練や意見交換を通じて関係性を深め、応援体制の充実に取り組みます。

事業進捗度集計 (次ページ以降より)	指標No.	指 標	年度別 事業進捗度の判定結果【4段階判定（スコア）】				
			R7	R8	R9	R10	R11
	(1) -1	災害時給水栓等の訓練実施率	○ (2)				
	(2) -1	災害対応訓練実施	○ (2)				

施策進捗度	進捗度	下限	～	目標	～	上限	年度別 施策進捗度の判定結果【4段階判定（スコア計）】				
							R7	R8	R9	R10	R11
	判定域	C	～	A	～	S	A (4)				
	スコア計	0	～	4	～	5					
	施策進捗度 判定基準						上記 () 内に示す「スコア計」の値をXとして				
							S	4	<	X	≦ 5 (目標を上回った)
							A	3	≦	X	≦ 4 (概ね目標通り)
							B	1	≦	X	< 3 (目標を下回った)
							C	0	≦	X	< 1 (目標を大きく下回った)

R7年度 施策評価 まとめ	R7年度までのスコア計推移		R7年度 施策進捗度
			A / S ~ C
	R7年度「施策10-1」総評		
	全項目で目標を達成し、施策評価は「A判定」となった。 (1) -1：【進捗度 ○】 災害時給水栓等の訓練実施率は32.3%の結果となった。 算出方法：1年間の災害時給水栓等訓練回数63件／195（災害時給水栓設置箇所）×100（回数内訳） 地域が主催する訓練への職員派遣（災害時給水栓）7件（区総合防災訓練5件、5都市合同防災訓練1件、福住町内会訓練1件） 地域が主催する訓練への職員派遣（非常用飲料水貯水槽等）2件 地域が主催する訓練へのホース貸出（災害時給水栓）51件 市民を対象とした講座等への職員派遣 1件 SBL養成講座 2件 (2) -1：【進捗度 ○】 応急給水研修、非常用飲料水貯水槽訓練を実施したほか、市の防災関係機関等連携実動訓練に参加した。また、11月に5都市合同防災訓練を仙台市で実施した。		

事業管理 No.1	指標概要	指標No.	(1)-1 地域の皆さまによる応急給水訓練の支援				
		指標 [単位]	災害時給水栓等の訓練実施率 [%]				
		指標算出方法	指標A [%] = 1年間の災害時給水栓等訓練回数／災害時給水栓設置箇所数×100				
		指標種別	1.数値形式(変動)				
	事前整理 事項	目標値 A' [%]	R7	R8	R9	R10	R11
			34.0	38.0	42.0	46.0	50.0
		進捗度 判定基準	達成度X = 実績値A / 目標値A' として、以下の通り判定を行う。				
			◎	110.0 ≤ X	(目標を上回る)		
			○	90.0 ≤ X < 110.0	(概ね目標通り)		
			△	70.0 ≤ X < 90.0	(目標を下回る)		
			×	0.0 ≤ X < 70.0	(目標を大きく下回る)		
進捗確認	実績入力	実績値 A [%]	R7	R8	R9	R10	R11
		達成度 X []	32.3				
			95.0				
	目標値および 実績値の推移						
	進捗度 判定		R7	R8	R9	R10	R11
			○				

事業管理 No.2	指標概要	指標No.	(2) -1 他の水道事業者・民間事業者との応援体制の充実				
		指標〔単位〕	災害対応訓練実施 [ー]				
		指標算出方法	指標A〔ー〕＝他の水道事業者・民間事業者と共同で行う災害対応訓練の実施の有無				
		指標種別	4.実施有無形式				
	事前整理 事項	目標〔ー〕	R7	R8	R9	R10	R11
			実施	実施	実施	実施	実施
		進捗度 判定基準	指標に設定した行為等に対し、実施したかどうかで、以下の通り判定を行う。				
				(なし)			
			○	実 施		(概ね目標通り)	
				(なし)			
	進捗確認	実績〔ー〕		未 実 施		(目標を大きく下回る)	
×							
進捗度 判定		R7	R8	R9	R10	R11	
		実施					
進捗確認	実績〔ー〕	R7	R8	R9	R10	R11	
		○					

施策の基本的方向性	10 災害対応における地域・他の水道事業者・民間事業者との連携強化
施策	2 災害経験の発信
とりまとめ	水道危機管理室
関連事業概要 (中期経営計画より)	(1) 災害経験の発信 [水道危機管理室・総務課] ●他の水道事業者における防災・減災意識の向上に貢献するため、これまでの災害経験から得た教訓やその後の取組について、水道局の職員間で確実に継承していくとともに、水道関連コンベンション等で継続的に発信していきます。 ●また、災害経験や復旧・復興支援を通して得た知見に関する今後の継承や発信の在り方についても検討していきます。

事業進捗度集計 (次ページ以降より)	指標No.	指標	年度別 事業進捗度の判定結果【4段階判定（スコア）】				
			R7	R8	R9	R10	R11
	(1) -1	災害経験の継承についての研修の実施	○ (2)				
	(1) -2	水道関連コンベンション等における災害経験の発信	○ (2)				

施策進捗度	進捗度	下限	～	目標	～	上限	年度別 施策進捗度の判定結果【4段階判定（スコア計）】				
	判定域	C	～	A	～	A	R7	R8	R9	R10	R11
	スコア計	0	～	4	～	4	A (4)				
	施策進捗度 判定基準						上記 () 内に示す「スコア計」の値をXとして				
							S	(なし)			
							A	3	≦	X	≦ 4 (概ね目標通り)
							B	1	≦	X	< 3 (目標を下回った)
							C	0	≦	X	< 1 (目標を大きく下回った)

R7年度 施策評価 まとめ	R7年度までのスコア計推移						R7年度 施策進捗度	
	■実績スコア - - A判定 上限 - - A判定 下限						A / A ~ C	
	R7年度「施策10-2」総評							
全項目で目標を達成し、施策評価は「A判定」となった。 (1) -1：【進捗度 ○】 局内特別研修「エスノグラフィを用いた災害研修」を実施し、局職員を対象に災害経験の継承をテーマに掲げ研修を行った。 (1) -2：【進捗度 ○】 WA-ASPIRE（ニュージーランド）に参加し災害対策を英語で発表したほか、日米台震災対策ワークショップ（台湾）に参加し、災害経験を英語で発表した。また、3月に開催された防災未来フォーラムに出展し、災害経験の発信に取り組んだ。								

事業管理 No.1	指標概要	指標No.	(1) -1 災害経験の発信					
		指標 [単位]	災害経験の継承についての研修の実施 [-]					
			指標算出方法	指標A [-] = 災害経験の継承に係る研修の実施の有無				
			指標種別	4.実施有無形式				
	事前整理 事項	目標 [-]	R7	R8	R9	R10	R11	
			実施	実施	実施	実施	実施	
		進捗度 判定基準	指標に設定した行為等に対し、実施したかどうかで、以下の通り判定を行う。					
				(なし)				
			○	実 施 (概ね目標通り)				
				(なし)				
進捗確認	実績 [-]	R7	R8	R9	R10	R11		
		実施						
	進捗度 判定	R7	R8	R9	R10	R11		
		○						

事業管理 No.2	指標概要	指標No.	(1) -2 災害経験の発信					
		指標 [単位]	水道関連コンベンション等における災害経験の発信 [-]					
			指標算出方法	指標A [-] = 水道関連コンベンション等における災害経験の発信の有無				
			指標種別	4.実施有無形式				
	事前整理 事項	目標 [-]	R7	R8	R9	R10	R11	
			実施	実施	実施	実施	実施	
		進捗度 判定基準	指標に設定した行為等に対し、実施したかどうかで、以下の通り判定を行う。					
				(なし)				
			○	実 施 (概ね目標通り)				
			×	(なし)				
	進捗確認	実績 [-]	未 実 施 (目標を大きく下回る)					
			R7	R8	R9	R10	R11	
進捗度 判定		実施						
		R7	R8	R9	R10	R11		
		○						

施策の基本的方向性	11 本市の技術力・ノウハウ・ネットワークを活かした近隣水道事業体との連携強化
施策	1 近隣水道事業体との連携推進
とりまとめ	経営企画課
関連事業概要 (中期経営計画より)	(1) 近隣水道事業体との対話の推進とニーズの把握 [経営企画課] ●本市では、塩竈市との共同浄水場の整備を行うとともに、県内3市4町からの水質検査の受託や、近隣水道事業体を対象とした実技講習会等、近隣水道事業体と連携した様々な取組を行っています。 ●近隣水道事業体との連携を更に進めるため、宮城県水道事業広域連携検討会への参画等を通じて、近隣水道事業体との対話を推進し、ニーズの把握に努め、より効果的な連携の在り方を引き続き検討していきます。

事業進捗度 集 計 (次ページ以降より)	指標No.	指 標	年度別 事業進捗度の判定結果【4段階判定（スコア）】				
			R7	R8	R9	R10	R11
	(1) -1	宮城県水道事業広域連携検討会への参画	○ (2)				

施策進捗度	進捗度	下 限	～	目 標	～	上 限	年度別 施策進捗度の判定結果【4段階判定（スコア計）】				
							R7	R8	R9	R10	R11
	判定域	C	～	A	～	A	A (2)				
	スコア計	0	～	2	～	2					
	施策進捗度 判定基準						上記 () 内に示す「スコア計」の値をXとして				
							S	(なし)			
							A	2	≦	X	≦ 2 (概ね目標通り)
							B	1	≦	X	< 2 (目標を下回った)
							C	0	≦	X	< 1 (目標を大きく下回った)

R7年度 施策評価 まとめ	R7年度までのスコア計推移		R7年度 施策進捗度																								
	<table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>実績スコア</th><th>A判定 上限</th><th>A判定 下限</th></tr></thead><tbody><tr><td>R7</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>R8</td><td>-</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>R9</td><td>-</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>R10</td><td>-</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>R11</td><td>-</td><td>2</td><td>2</td></tr></tbody></table>		年度	実績スコア	A判定 上限	A判定 下限	R7	2	2	2	R8	-	2	2	R9	-	2	2	R10	-	2	2	R11	-	2	2	A / A ~ C
	年度	実績スコア	A判定 上限	A判定 下限																							
	R7	2	2	2																							
R8	-	2	2																								
R9	-	2	2																								
R10	-	2	2																								
R11	-	2	2																								
R7年度 「施策11-1」 総評																											
全項目で目標を達成し、施策評価は「A判定」となった。 (1) -1：【進捗度 ○】 令和7年度においては、宮城県水道事業広域連携検討会及び各機能別検討部会に参画し、近隣水道事業体との継続的な意見交換・情報共有を通じて、システムの共同化や委託の共同発注をはじめとする広域連携に関するニーズやその課題の把握を着実に進めることができた。																											

事業管理 No.1	指標概要	指標No.	(1) -1 近隣水道事業体との対話の推進とニーズの把握				
		指標 [単位]	宮城県水道事業広域連携検討会への参画 [-]				
		指標算出方法	指標A [-] = 宮城県水道事業広域連携検討会への参画				
		指標種別	4.実施有無形式				
	事前整理 事項	目標 [-]	R7	R8	R9	R10	R11
			実施	実施	実施	実施	実施
		進捗度 判定基準	指標に設定した行為等に対し、実施したかどうかで、以下の通り判定を行う。				
				(なし)			
			○	実 施 (概ね目標通り)			
				(なし)			
			×	未 実 施 (目標を大きく下回る)			
	進捗確認	実績 [-]	R7	R8	R9	R10	R11
実施							
進捗度 判定		R7	R8	R9	R10	R11	
		○					

施策の基本的方向性	12 民間事業者・仙台市水道サービス公社との更なる協働
施策	1 民間活力を活用した最適な事業手法の検討
とりまとめ	経営企画課
関連事業概要 (中期経営計画より)	(1) 民間事業者等の技術・ノウハウの活用検討 [経営企画課] ●本市では、水道施設の工事のほか、メーター検針や料金収納、コールセンター運営等の個別業務について、民間事業者や公社と連携し、水道事業を運営してきました。今後、管路更新のペースアップや共同浄水場の整備が本格化し、業務量が増大することから、民間事業者等との連携を更に強化して取り組む必要があります。 ●共同浄水場等の整備手法については、民間事業者等の技術やノウハウを活用するため、引き続き、民間活力の導入検討を進めます。また、その他の施設の維持管理や運転管理、事務系の業務についても、官民連携手法の活用や民間事業者等への委託範囲の拡大等、最適な事業手法の調査・検討を行います。

事業進捗度集計 (次ページ以降より)	指標No.	指 標	年度別 事業進捗度の判定結果【4段階判定（スコア）】				
			R7	R8	R9	R10	R11
	(1) -1	更なる民間活力の導入検討	○ (2)				

施策進捗度	進捗度	下限	～	目標	～	上限	年度別 施策進捗度の判定結果【4段階判定（スコア計）】				
	判定域	C	～	A	～	A	R7	R8	R9	R10	R11
	スコア計	0	～	2	～	2	A (2)				
	施策進捗度 判定基準						上記 () 内に示す「スコア計」の値をXとして				
							S	(なし)			
							A	2	≦	X	≦ 2 (概ね目標通り)
							B	1	≦	X	< 2 (目標を下回った)
							C	0	≦	X	< 1 (目標を大きく下回った)

R7年度 施策評価 まとめ	R7年度までのスコア計推移 <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>実績スコア</th><th>A判定 上限</th><th>A判定 下限</th></tr></thead><tbody><tr><td>R7</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>R8</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>R9</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>R10</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>R11</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr></tbody></table>	年度	実績スコア	A判定 上限	A判定 下限	R7	2	2	2	R8	2	2	2	R9	2	2	2	R10	2	2	2	R11	2	2	2	R7年度 施策進捗度 A / A ~ C
	年度	実績スコア	A判定 上限	A判定 下限																						
	R7	2	2	2																						
	R8	2	2	2																						
R9	2	2	2																							
R10	2	2	2																							
R11	2	2	2																							
R7年度「施策12-1」総評																										
全項目で目標を達成し、施策評価は「A判定」となった。 (1) -1：【進捗度 ○】 令和7年度においては、共同浄水場整備や茂庭浄水場排水処理施設の更新について、官民連携導入可能性調査を実施し、それぞれの整備・運用に係る最適な手法の検討を進めた。																										

事業管理 No.1	指標概要	指標No.	(1) -1 民間事業者等の技術・ノウハウの活用検討					
		指標 [単位]	更なる民間活力の導入検討 [-]					
			指標算出方法	指標A [-] = 更なる民間活力の導入検討				
			指標種別	4.実施有無形式				
	事前整理 事項	目標 [-]	R7	R8	R9	R10	R11	
			実施	実施	実施	実施	実施	
		進捗度 判定基準	指標に設定した行為等に対し、実施したかどうかで、以下の通り判定を行う。					
				(なし)				
			○	実 施 (概ね目標通り)				
				(なし)				
			×	未 実 施 (目標を大きく下回る)				
	進捗確認	実績 [-]	R7	R8	R9	R10	R11	
実施								
	進捗度 判定	R7	R8	R9	R10	R11		
		○						

施策の基本的方向性	12 民間事業者・仙台市水道サービス公社との更なる協働
施策	2 民間事業者・仙台市水道サービス公社の人材確保・技術力の維持向上
とりまとめ	経営企画課
関連事業概要 (中期経営計画より)	(1) 民間事業者等との協働による人材確保や技術力向上の支援 [総務課・経営企画課] ●社会全体としてのマンパワー不足が懸念されている中、前期計画期間においては発注工事における入札不調の増加がみられており、水道事業においても人材の不足が課題になりつつあると考えられます。 ●水道技術者の確保に向けて、高等技術専門学校への講習会等を継続して実施するほか、学生を対象に水道業界への関心を高めるため、課題解決に向けた支援について、民間事業者等と意見交換を行い、協働して検討していきます。 ●(公財) 仙台市水道サービス公社においても、ベテラン職員の退職に伴い、職員の技術・ノウハウの確保が課題となっていることから、本市が主催する研修等に公社職員の参加を促すなど、公社の技術力の維持向上に資する取組を連携して行います。

事業進捗度 集 計 (次ページ以降より)	指標No.	指 標	年度別 事業進捗度の判定結果【4段階判定(スコア)】				
			R7	R8	R9	R10	R11
	(1) -1	高等技術専門学校に対する講習会	× (0)				
	(1) -2	本市主催の研修への公社職員の参加呼びかけ	○ (2)				

施策進捗度	進捗度	下 限 ~ 目 標 ~ 上 限	年度別 施策進捗度の判定結果【4段階判定(スコア計)】				
			R7	R8	R9	R10	R11
	判定域	C ~ A ~ A	B (2)				
	スコア計	0 ~ 4 ~ 4	上記 () 内に示す「スコア計」の値をXとして				
施策進捗度 判定基準			S	(なし)			
			A	3 ≤ X ≤ 4	(概ね目標通り)		
			B	1 ≤ X < 3	(目標を下回った)		
			C	0 ≤ X < 1	(目標を大きく下回った)		

R7年度 施策評価 まとめ	R7年度までのスコア計推移	R7年度 施策進捗度
	■実績スコア - - A判定 上限 - - A判定 下限	B A ~ C
	R7年度「施策12-2」総評	
	(1) -1が未実施となったことにより、施策評価は「B判定」となった。 (1) -1：【進捗度 ×】 令和7年度においては、高等技術専門学校に対する講習会の実施を予定していたが、当該校において建替工事が行われていたことから、実施が見送られた。また、水道技術者の確保に向けた代替となる取組の実施も令和7年度は行えなかった。令和8年度以降においては、高等技術専門学校における工事の進捗状況を確認した上で、講習会の実施に向けた検討を行うとともに、水道技術者の確保に向けたその他の支援についての検討を引き続き行う。 (1) -2：【進捗度 ○】 (公財) 仙台市水道サービス公社職員に対し、研修参加の呼びかけを実施し、4月の新規採用・転任職員研修及び7月の応急給水研修について、それぞれ3名の参加があった。	

事業管理 No.1	指標概要	指標No.	(1) -1 民間事業者等との協働による人材確保や技術力向上の支援				
		指標 [単位]	高等技術専門学校に対する講習会 [-]				
		指標算出方法	指標A [－] = 高等技術専門学校に対する講習会の実施の有無				
		指標種別	4.実施有無形式				
	事前整理 事項	目標 [－]	R7	R8	R9	R10	R11
			実施	実施	実施	実施	実施
		進捗度 判定基準	指標に設定した行為等に対し、実施したかどうかで、以下の通り判定を行う。				
				(なし)			
			○	実 施 (概ね目標通り)			
				(なし)			
			×	未 実 施 (目標を大きく下回る)			
	進捗確認	実績 [－]	R7	R8	R9	R10	R11
未実施							
進捗度 判定		R7	R8	R9	R10	R11	
		×					

事業管理 No.2	指標概要	指標No.	(1) -2 民間事業者等との協働による人材確保や技術力向上の支援					
		指標 [単位]	本市主催の研修への公社職員の参加呼びかけ [-]					
			指標算出方法	指標A [-] = 本市主催の研修への公社職員の参加呼びかけについて実施の有無				
			指標種別	4.実施有無形式				
	事前整理 事項	目標 [-]	R7	R8	R9	R10	R11	
			実施	実施	実施	実施	実施	
		進捗度 判定基準	指標に設定した行為等に対し、実施したかどうかで、以下の通り判定を行う。					
				(なし)				
			○	実 施 (概ね目標通り)				
				(なし)				
			×	未 実 施 (目標を大きく下回る)				
	進捗確認	実績 [-]	R7	R8	R9	R10	R11	
実施								
	進捗度 判定	R7	R8	R9	R10	R11		
		○						